【報告書式１】

令和　　年　　月　　日

住　　　所

名 　称　　　　　　　　　　　　　　　協議会

代表者氏名

**令和６年度　事業報告書**

**（モーダルシフト加速化緊急対策事業）**

１．協議会の名称及び代表者

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 協議会 |
| 代表者の氏名とその所属先 |  |

２．協議会の構成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □で囲む | 構成員（担当者） | |
| 輸送委託者  輸送事業者  その他 | 社名 |  |
| 住所 |  |
| 担当部署 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先 | TEL　　(　　　　　　　 　　 )  E-Mail（　　　　　　　　 ） |
| 輸送委託者  輸送事業者  その他 | 社名 |  |
| 住所 |  |
| 担当部署 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先 | TEL　　(　　　　　　　　　　　 )  E-Mail（　　　　　　　　 ） |
| 輸送委託者  輸送事業者  その他 | 社名 |  |
| 住所 |  |
| 担当部署 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先 | TEL　　( 　　　 )  E-Mail（ ） |

※お問い合わせの窓口となる方の担当者の氏名に下線を付けること。

※欄が足りない場合は、別葉にて作成すること。

３．事業結果の概要

|  |
| --- |
| １）実施結果 |
| ２）課題・改善点等 |
| ３）今後の取組みについて |
| ４）その他特記事項 |

４．実施内容《総括表》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 類型 | | １．トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換  ２．新規に鉄道又は海上輸送する貨物 |
| 輸送期間 | | （輸送実施期間）  令和　　年　　月　～　令和　　年　　月 |
| 輸送経路 | 転換前  （仮想） |  |
| 転換後 |  |
| 輸送品目 | |  |
| 輸送実績 | |  |

５．実施内容　※経路が複数ある場合は、経路毎に表を作成すること。

輸送経路（　　　　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 類型 | | １．トラック輸送から鉄道又は海上輸送への転換  ２．新規に鉄道又は海上輸送する貨物 |
| 輸送期間 | | （輸送実施期間）  令和　　年　　月　～　令和　　年　　月 |
| 輸送経路 | 転換前  （仮想） |  |
| 転換後 |  |
| 輸送品目 | |  |
| 輸送実績 | |  |

６．補助対象設備・機器の利用実績および得られた効果

|  |  |
| --- | --- |
| 利用期間 | (利用期間)  令和　　年　　月　～　令和　　年　　月 |
| 事業実施前 |  |
| 事業実施後 |  |
| 機器導入区間・箇所 |  |
| 機器の利用実績・得られた効果 |  |

７．年度別事業実績

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 令和６年度 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 |
| 転換距離（km） |  |  |  |  |
| 転換貨物量（t） |  |  |  |  |
| 省力化効果及び  その算出根拠（時間） |  |  |  |  |
| 省力化効果及び  その算出根拠（％） |  |  |  |  |

※転換貨物量について、実重量での把握が困難な場合はコンテナの最大積載量等に基づき算出した貨物量での報告でも問題ない。

※省力化効果（時間）にはトラックドライバー総走行時間の年間削減時間を、省力化効果（％）には年間削減率を記載すること。

※令和７年度以降は計画値を記載すること。